



学校教育目標 ・かしこく ・やさしく ・たくましく
 児童数 男子181名 女子192名 373名

在家小だより

川口市立在家小学校

川口市安行領在家323番地

TEL (048) 295-7955

FAX (048) 295-7966

より良い判断をするために

校長 渡辺 訓次

芝川の土手の草花や校庭の木々の緑が一段と濃くなり、ツツジ・フジ・ハナミズキなどが色鮮やかに花を咲かせるさわやかな季節となりました。一ヶ月が経ち、在家っ子の新年度のスタートを振り返ると「概ね良好」という感じがします。新型コロナウイルス感染に最善の注意をはらいながらの日々ではありますが、2年生以上の児童の多くが「学年があがった」という意識からなのか、授業・清掃・係や委員会と、色々な場面で発達段階に応じた頑張りを見せています。もちろん新入生の1年生も、少しずつ小学校の生活に慣れてきています。「離任式」「一年生を迎える会」「保護者懇談会」など、昨年できなかった取り組みも、様々な工夫により実施することができました。今後も実施の可能性を探り、工夫をして教育活動が充実するよう努めていきます。

とは言うものの、それも今の状況が悪くならなければの話です。現在、川口市は「まん延防止等重点措置」の対象地域に指定され、県内他市町村と比較すると、新型コロナウイルスへの対応について油断できない厳しい状況と捉えています。また、感染力が強く若年層も重篤化しやすいと言われている変異株の流行も気になるところです。この先も感染に歯止めがかからなければ、再び「緊急事態宣言」の発出や、最悪、学校休校という事態になるかもしれません。そうなれば、今年こそと計画していることがまたできなくなります。そのような状況にさせないためには、今、学校に関わるすべての人、一人一人の不断の努力に関わってこころを思います。テレビでは、飲食業界の方々をはじめコロナの影響で生活に大打撃を受けている人たちの姿が映しだされる一方、感染防止のための様々な制限を、勝手な理由で無視をして行動している人たちの姿も映し出されています。そのような映像を目にするたび、無性に心がざわつくのは私だけでしょうか。

さて、今この文をお読みいただいている皆様、以下の3点についてどちらを選択されますか？

- 「先のことは考えず、その場が良ければよし」と行動するか。それとも、「先を見据え、今は我慢」と行動するか。
- 「守る人がいる以上、自分も守る」と行動するか。それとも、「守らない人がいる以上、守ることは損」と行動するか。
- 「自分を優先」して行動するか。それとも、「他者を優先」して行動するか。

どちらを選択するかは、「本音と建て前」や「理想と現実」ということも含め、その時々、置かれている状況により異なるのかもしれませんが、いずれにせよ判断が難しい時があると思います。

人それぞれに判断する基準というものを持っており、その基準を導き出している要因のひとつとして、人それぞれが持っている価値観があると考えます。その価値観ですが、「経験」、「環境」、「性格」などにより構築されるものと捉えています。「性格」は生まれながらの要素も多いため変えることは、なかなか容易ではないと思いますが、「経験」や「環境」は意図的に変えることは可能です。学校の教育活動のすべてが、実はこの「経験」や「環境」となります。ですから、子供たちには、より良い経験やより良い環境を与えるように努め、今は純粋に「正しいこと」を学ばせたいと考えます。きれいごと聞こえると思いますが、きれいごとを学ばせる機会は今しかないのではないかと思います。「本音と建て前」や「理想と現実」という部分は、いずれこの先の人生の中で経験することになるでしょう。その時に子供たちがどのように感じそれを身に付けるのかは、その時でよい気がいたします。何はともあれ、保護者や地域の皆様にも、今は子供たちに、より良い経験やより良い環境を与えていただきますよう、ぜひご協力をお願いします。